

めぐみの糧

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」
（マタイ4章4節）

「神の愛は、母の愛に似ている」

湯浅 修

「母はまことにありがたい。しかし、その母をくださった神は、その幾万倍も偉大な方なり」
（救世軍中将 山室軍平 1872～1940年）

私事で恐縮ですが、母が亡くなり、早三年半の月日が流れましたが、今も、前述した、山室軍平の言葉に慰められます。

山室は、「神の愛は、母の愛に似ている」とも説教の中で述べております。

「母の愛は真に偉大ですが、その母をくださった神は、それ以上に偉大なお方です」という彼の言葉は、本当であると思います。今回は、母の愛に思いを馳せつつ、神の愛を考えてみたいと思います。

昔、一人の王がいた。王に仕える大臣は、博識で聖なる人だった。パレスチナを旅したとき、大臣はキリストの話聞いていた。感動し、ついにキリスト教徒になった。故国に戻ると、自分がキリスト教徒になったこと、罪人を救うために世に下った救い主を信じていることを人々に告白した。

王は言った。

「余は、何かをさせたいときには、一言家来に命じるだけでそれは果たされる。一言で人間を救えるはずの王の王が、何故、この世に来て、※受肉しなければならぬのか」大臣は、答えを出すまで一日猶豫を願った。そして、有能な職人に命じて人形を作らせ、王の一歳になる子供そっくりに着付けさせ、翌日待つように命じた。

その翌日、王と大臣は船の上において、いよいよ大臣が答える時が来た。この時、かねてからの打ち合わせ通り、職人が人形を抱えて岸辺に立った。王は、人形をわが子と思い込み、両手を差し延べたが、職人は大臣の指示通りに人形を湖に投げ込んだ。この時、王は溺れるわが子を救おうと、すぐに水に飛び込んだ。

その後で、大臣は言った。

「王様、ご自分から水に飛び込む必要はありません。私にお命じになれば十分ではありませんか。なぜ、自ら飛び込まれましたか？」

「父の愛だ！」と、王は答えた。

大臣は言った。

「世人を救うために、全能の神、自らが受肉されたのは、まさにその愛のためなのです」と。

（※受肉とは、人となること）

一・身代わりの愛です。

「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人ひととを十字架につけた。犯罪人のひとりには右に、ひとりには左に。」（ルカ23章）

私の母は、長年C型肝炎に苦しみ、それが原因で亡くなりました。私は、双子の弟として産まれましたが、出産時母は、大量出血の為、多量の輸血を受けざるを得ませんでした。この輸血が感染源となり、母の知らない間に、ゆつくりと進行していったという事実を、初めて、父の口から聞きました。葬儀の席でのことです。

それ以来、「母の命の犠牲の上に、今の自分があるんだなあ」と、思わない日はなくなりました。先の聖書のことばは、イエスキリストが、御自身の罪故ではない、人間の罪を背負って十字架にはりつけにされ、身代わりに神の裁きを受けておられる姿です。

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです」
（第一ペテロ2章24節）

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きていくのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです（ガラテヤ2章20節）

神の愛は、第2に

二・与え尽くす愛です。

神の愛は「アガペ」の愛、一方向的に、愛し続ける愛です。

私の母は、何の趣味も持っておりませんでした。（松竹新喜劇藤山寛美のテレビを見ることを何よりの楽しみにしていた事位でしょうか）

殆ど、どこにも行くことなく、自分のために買うことはありませんでした。私は、幼少時から学生時まで、それはひどいしもやけに悩まされましたが、それは自分の遺伝のせいであると思っておりました。その罪責感からでしょう。か、結婚後も毎年手袋を編んでは送り続けてくれました（今も宝物として大切に保管しています）。再び、冒頭の山室軍平のことばに戻ります。

私にそのような母を与えてくださった神、イエスキリストは、更に偉大であり、一生涯、罪人のために生きたお方です。キリストはこの世で、およそ三十四年間の生涯を送

りましたが、十字架上で、最後の血の一滴まで私たちのために、注ぎ尽くされたのでした。

「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなられたのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした」
（第一ペテロ3章18節）

神の愛は、第3に

三・真実なる愛です。

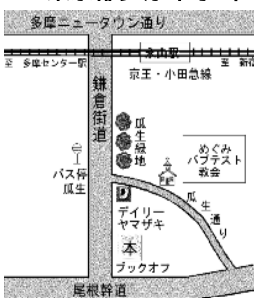
「イエスは、彼に言われた。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともに、バガダイスにいます」

私の母は、母自身出来る限り、私欲なき真実な愛で、私を育ててくれました。それ故、親孝行らしいことが何ひとつ出来なかつたことは、今も悔やまれます。再度、山室軍平のことばに戻りますが、神の愛は、（裏面に続きます）

めぐみバプテスト教会

東京都多摩市永山6-2-5永井ビル2F



Tel. 042-374-2311

FAX 042-374-2311

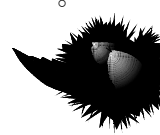
木曜日 夜 7:00～8:30 祈り会
日曜日 朝 9:30～10:25 日曜学校
10:45～12:15 礼拝

牧師：湯浅 修（ゆあさおさむ）

メール：qrdgp763@ybb.ne.jp

携帯：080-5053-9206（湯浅）

ホームページ：「めぐみバプテスト教会」と検索（ださい）



その幾万倍も無私、真実、偉大なのです。

十字架上のイエスキリストは、

「イエスキリス。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」

と告白する、強盗の悔い改めを受け入れ、

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイス(天国)にいます。」

と言われました。そして、イエスキリストは、この男に約束通り永遠の命を与えられたのです。

「私たちは真実でなくても、彼(キリスト)は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。」(第2テモテ2章13節)

神の愛は、①身代わりの愛

②与え尽くす愛 ③真実なる愛 です。

イエスキリストは、いつでも、どこでも、誰にでも、永遠のいのちをお与えくださる方です。あなたも、今までの罪を、(あの十字架上の御罪人と同じように)告白し、イエスキリストの血潮により、ごごくく赦され、きよめられて、新しく生まれ変わられませんか？

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ3章3節)

「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のようになっても、羊の毛のようになる。」(イザヤ書)

「私たちは自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、(御子イエスの血)はその罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」(第1ヨハネ1章9節)

「神は子どものあやまちを永遠に忘れてしまふ母親のように、私たちをゆるしてください。」

(ンリー・ピーチャー(1813-86))

「神の大きな愛の戸は、迷って罪におぼれている子のために、閉められることなく、いつも広く開かれている。」 ウィルバー・チャプマン

(「めぐみの糧」バックナンバーNo.1～8は、ホームページ上でお読みいただくことができます)

パステルアート教室のご案内

絵を描くということは、セルフヒーリングにつながります。

色を楽しむということも、心を開放したり、内面を見つめるのに役立ちます。

パステルは穏やかで温かい“光”を表現するのにとてもすぐれた素材です。

色と色がまざることで、そこから思わぬハーモニー(調和)がうまれます。

やさしくて心地よく、そして透明感のある“世界でたったひとつのあなたの作品”

を描いていきましょう！

毎回、1枚の絵を仕上げます。(初心者大歓迎！)

第2・第4 水曜日 10時～12時 または 午後1時半～3時半

月謝： 3000円

入会金：3000円(いつでも見学できます)

場所 めぐみバプテスト教会

お申込み、お問い合わせ先

JPHAA公認準インストラクター 上嶋(かみじま)ひとみ

：080-6671-7687

メール：awaken1103@yahoo.co.jp

(＊ホームページに、パステルアート作品が掲載されています)

めぐみバプテスト教会 10月のご案内

10/12(日) 礼拝10:45～ 礼拝(バプテスマ式を行います。バプテスマは、一般的に“洗礼”と呼ばれています。関心のおありになる方は、是非、ご覧ください)

10/13(祭日、月) パーベキューの集まり

お昼から、近くの場所をお借りしてパーベキューを予定しています。雨天でもできます。

皆様の御来会、歓迎致します。ご参加希望の方は、お手数ですが、教会または牧師まで、是非御連絡ください。

10/26(日) 礼拝10:45～ 礼拝 教会創立記念日

(教会の誕生日です。お昼も御用意しておりますので、ともに御祝いいただけましたら、感謝致します。

どうぞ、おでかけください)

(＊教会の集会は、すべて、無料です。)

めぐみバプテスト教会は、あなたのお役に立ちたいと願っています。聖書は人生のすべての悩み、苦しみに解答を与えています。どなたでも、お越しいただけます。ご来会、ご連絡、心より御お待ちしております。

あとがきにかえて

「めぐみの糧」第9号をお読み下り、ありがとうございます。

今号は、「神の愛は母の愛に似ている」というテーマを取り上げました。

犠牲的な人間愛は、いつの時代も人々を感動させます。そのような高尚な愛の源は、私たち創造者に求めることができます。

「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていない。」(ヨハネ15章13節)

私は、イエスキリストの犠牲愛にお応えする方途は、只ひとつ、この方の愛を我がものと感謝し、心の中にお迎えすることと考えております。

(湯浅)

聖書通信講座のご案内

どなたでも無料で学ぶことのできる聖書

通信講座があります。講座は幼児用

から大人までのコースです。ご希望の

方は、どうぞ、お気軽に当教会まで

御連絡下さい。早速、スタートできます。

042-372-5693

メール：qrddp763@ybb.ne.jp

(疑問・ご質問何でも、お問い合わせ下さい)